

■ □ 離島キッチン札幌店について □ ■

1. 「離島キッチン」とは

- ・ 2009年9月、島根県隠岐諸島の海士町が中心となり、全国約30の島々と連携し、立ち上げたアンテナショップ事業。現在、神楽坂店、福岡店の2店舗が展開され、札幌店は3店舗目。
- ・ 島の食事を純粋に味わうとともに、その食の背景にある「文化」「歴史」「物語」も一緒に楽しめるお店。
- ・ 札幌店は、利尻島を中心とした道内の離島が主体となり、全国の各離島と連携して運営する。※毎月「今月の離島」として特定の離島にスポットを当てたフェアを実施する。<札幌店のオープンは9月29日（金）11：30～>

2. 「離島キッチン」の目的

「離島」は雄大な自然や独特な文化を背景に、魅力ある資源、産品があふれる一方、生産力や物流コストの問題から販路拡大に関しては高いハードルがあるのが現状であるが、「離島キッチン」は日本中に点在する離島を結びつける”ハブ”として離島パワーを集結し、離島の持つ問題をひとつずつ解決していくことを目的としている。

3. 離島キッチン札幌店の概要

(1) 事業主体

NPO 法人利尻ふる里・島づくりセンター

(2) 住所

札幌市北区北11条西1丁目1-25

(3) 道内連携離島町

礼文町、利尻町、利尻富士町、奥尻町、
羽幌町、厚岸町

(4) 内装：レストラン（60席）、物販スペース

(5) レストランメニュー

【食事】※一例です

もずくの酢の物（焼尻島）、水だこのタパス（天売島）、たちかま（利尻島）、
糠ほっけマリネサラダ（礼文島）、めかぶの天ぷら（海士町）、宮古牛のハンバー
グ（宮古島）、地獄炊き（五島列島）、レモンポークのキムチ鍋（岩城島）、ずん
だアイス（栗島）など

【飲み物】

ビール、日本酒、焼酎、カクテル等全国の島から提供される予定

(6) 物販スペース

糠ほっけ（礼文島）、利尻昆布酢（利尻島）、ふくぎ茶（海士町）など



総合政策部地域創生局地域政策課
内線：23-476